

第 2 知 事 戦 略

第 2 知 事 戦 略

知事戦略部は、「新・群馬」の創造に向けた取組の司令塔として、政策立案や県政情報の発信、デジタルトランスフォーメーションの推進、トップ外交、グリーンイノベーション・交通イノベーションの推進等を戦略的・機動的に実施している。

令和 6 年度は、「新・群馬県総合計画」の実現と「群馬モデルの発信」に向け、「湯けむりフォーラム」の開催、メディアミックス戦略高度化、「G u n M a a S」の推進など、次の重点施策等に取り組んだ。

【令和 6 年度に実施した重点施策及び主な取組】

1 政策立案・検証

- ・新・群馬県総合計画の普及啓発
- ・湯けむりフォーラム 2024 の開催

2 戦略的な情報発信

- ・メディア戦略推進
- ・ぐんまちゃんのブランド力強化
- ・動画・放送スタジオ「tsulunos」の運営・活用
- ・メディアミックス戦略高度化
- ・ショート動画活用

3 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ・地域課題解決プロジェクトの実施
- ・官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用
- ・デジタル基盤整備

4 グリーンイノベーションの推進

- ・カーボンニュートラル推進
- ・再生可能エネルギー導入の促進
- ・グリーンイノベーション加速化支援

5 交通イノベーションの推進

- ・「G u n M a a S」の普及拡大
- ・公共交通網の整備・維持

6 戦略的な地域外交

- ・知事によるトップ外交の実施
- ・国際交流イベントの実施

1 知事戦略管理費

(1) 庁議

知事、副知事、各部局長等で構成する「庁議」を開催し、県の重要施策についての協議や情報共有を行った。

開催回数	付議件数
32回	49件

(2) 総務調整費

決算額 13,429 千円

部内共通経費や年度途中に機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区分	金額
主管課運営費（主管課経費）	3,103千円
部局調整費（赴任旅費等）	10,326

(3) 社会参加費

決算額 175 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体の会合出席に伴う会費等の支出を行った。

所属数	金額
知事戦略部5課	175千円

(4) 政策調査

決算額 3,411 千円

職員の自由な発想を県政に反映させるため、政策プレゼンを実施した。一般職員から 10 テーマの提案があり、8 テーマが令和 7 年度において予算化・事業化につながっている。また、政策プレゼンの実施や新規政策の検討のため、職員が行う調査研究について「政策プレゼン等調査研究費」により予算面の支援を行った。

対象調査研究数	金額
5件	376千円

(5) 戦略企画推進

決算額 1,443 千円

① 庁内連携ブリーフィング等運営

県の施策に係る全庁的な調整・情報共有を行うため、「庁内連携ブリーフィング」を 12 回開催した。

② 寺子屋・自我作古開催支援

職員の政策立案能力の向上及び各業界で活躍する講師との関係構築を目的とした自主勉強会（寺子屋・自我作古）の開催を支援した。

・開催支援回数 9 回（参加者数延べ 134 人）

(6)連携推進

決算額 15,993 千円

① 各種知事会議

各種知事会議の場において、群馬県の考え方や政策を発信するとともに、近隣県との連携並びに国への要望活動を実施した。

会 議 名	開 催 状 況
全 国 知 事 会 議	・ 2 回（7 月、11 月）開催 ・ 令和 7 年度税財政に関する提案や国施策予算への要望などを決議
関東地方知事会議	・ 2 回（5 月、10 月）開催 ・ 群馬県発議「災害関連死を防ぐための避難生活の質向上に向けた支援等について」「国民スポーツ大会の改革について」等全 28 項目の国への要望を決議

② 公立大学法人等評価

群馬県公立大学法人の業務の実績に関する評価等を行うための評価委員会を開催した。

③ 高校生リバースマンター

知事のメンターを委嘱された高校生 10 名からの提言を受け、事業化も含め、県政への反映を検討した。

主 な 提 言 テ ー マ	実 施 状 況
聴 覚 障 害 者 へ の 理 解 促 進	・ 聴者の出演など、新しい視点での動画を制作
将来地元で働きたい高校生を増やし、群馬からの若者の流出を防止したい	・ 高校生向けの企業見学ツアー、高校生と企業との交流イベントを令和 7 年度に実施予定
よりよい教育現場を作る	・ 提言者が出演する教職の魅力を伝える PR 動画を新たに制作

(7)未来創生

決算額 384,056 千円

① 総合計画・総合戦略

ア 総合計画

幅広い世代を対象に、新・群馬県総合計画の普及啓発を実施した。

- ・ 取組事項：新・群馬県総合計画に基づく群馬県の方向性、魅力を県内外に広く発信するため、海外向け、国内向けの PR 動画を作成した。

イ 総合戦略

群馬県デジタル田園都市構想総合戦略について、評価検証に係る有識者会議を開催し、外部有識者の意見を踏まえ、評価検証結果を報告書としてまとめた。

② ふるさと納税推進

ア ぐんまふるさと納税（個人版ふるさと納税）

旅行クーポンなどを返礼品に追加し、返礼品の充実を図るなどの工夫を行い、施策に賛同いただいた多くの方から寄附を受け入れた。さらなる寄附の確保に向け、ふるさと納税ポータルサイトである「さとふる」を追加した。

イ 企業版ふるさと納税

群馬県が行う地方創生の取組に対し、賛同いただいた幅広い企業から寄附を受け入れた。

・寄附受入実績

区 分	令和 6 年度		令和 5 年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人版ふるさと納税	9,462 件	601,205,400 円	4,151 件	267,893,600 円
企業版ふるさと納税	30	120,865,390	26	47,078,955

③ デジタル田園都市国家構想推進交付金

デジタル田園都市国家構想関係の交付金について、群馬県が実施する事業の庁内調整、県及び市町村申請のとりまとめ等、事務手続きを行った。

区 分	実 績 （ 国 費 ベ ー ス ）
地 方 創 生 推 進 タ イ プ	21 事業 1,131,033,511 円 (令和 5 年度繰越含む)
地 方 創 生 拠 点 整 備 タ イ プ	4 事業 699,442,166 円 (令和 5 年度繰越含む)
デ ジ タ ル 実 装 タ イ プ	1 事業 33,629,301 円

④ 官民共創コミュニティ育成

地域の課題解決や新しい価値の創出の場となる「官民共創コミュニティ」を育成するため、官民で連携したワークショップ等を実施した。

区 分	事 業 内 容
デ ザ イン ア プ ロ ー チ L A B	・企業に、地域の課題を解決するためのテーマを提案してもらい、それをもとにワークショップを開催。 ・令和 5 年度まで実施された「未来共創ワークショップ」で生まれたアイデアを、実際に形にするための支援を実施。 ・ワークショップ参加者 36 名、実装支援件数 1 件
デ ザ イン × デ ー タ L A B	・群馬県の若者たちが世界を意識し、将来、群馬県から多くの起業家（始動人）を輩出することを目的としたプログラムを行い、基礎的な能力（アントレプレナーシップ、グローバルコミュニケーション能力、データ活用力など）を養成。 ・アントレプレナーシップ醸成プログラム参加者 17 名
ぐんま始動人 ク リ エ イ テ ィ ブ L A B	・県内の行政及び民間企業の若手を対象に、クリエイティブな社会課題解決を発想し実践する中長期の研修をゼミ形式で実施。 ・ワークショップ参加者 19 名、トライアルイベント参加者 61 名

⑤ 湯けむりフォーラム

地域社会が抱える様々な課題解決に向けて、時代の最先端をゆく独自のモデルや新たな価値を生み出すため、トップリーダーや有識者等による講演やトークセッションなどを行うカンファレンスイベント「湯けむりフォーラム 2024」を開催するとともに、年間を通じて熱量ある多種多様なコンテンツをオンラインで配信した。

・湯けむりフォーラム 2024

区 分	内 容
開 催 日	令和 6 年 12 月 14 日(土)～15 日 (日)
開 催 場 所	群馬県吾妻郡草津町
参 加 者 数	786 名
主なプログラム	・東映・吉村社長と知事とのトークセッション ・日本総合研究所・寺島会長の特別講演 ・群馬交響楽団アンサンブルコンサート ・lyricalschool ミニライブ ・「R e : H a c Q」特別セッション ・湯畑周辺企画 など

・年間制作コンテンツ

区 分	制作実績
動 画	44 本(※)
テキスト	22

※令和 6 年度に配信した動画総再生回数 1,605,855 回 (令和 7 年 4 月 28 日現在)

※これまで配信した動画総再生回数 4,642,455 回 (令和 7 年 4 月 28 日現在)

⑥ 官民共創による政策実現のためのオンラインプラットフォーム

多様な意見を取り入れた官民共創による政策実現の一環として、デジタルを活用した新たな政策形成プラットフォーム (PoliPoli Gov) により、政策に関するテーマを掲示し、オンライン上で幅広く県民の声を募集した。

募集テーマ	募集期間	意見件数
あなたが思う「クリエイティブな人生 (くらし)」のイメージを教えてください。	令和 6 年 7 月 16 日 ～9 月 16 日	120 件
災害に強い群馬県をつくっていくためにはどんな取り組みが必要だと思いますか？	令和 6 年 8 月 1 日 ～9 月 1 日	162
行政手続きの「こうなったらいいな」を募集しています！	令和 6 年 8 月 8 日 ～9 月 30 日	127
地域に必要なことを、自分たちで考え、協力して取り組むために、どんなことが必要だと思いますか？	令和 6 年 9 月 17 日 ～10 月 31 日	117
日常生活で感じる群馬県の公共交通の改善点を教えてください！	令和 6 年 12 月 11 日 ～令和 7 年 2 月 2 日	593
アントレプレナーシップに必要な能力は何だと思いますか？	令和 7 年 2 月 7 日 ～3 月 2 日	67

(8) E B P M推進

決算額 12,787 千円

① E B P M環境整備

令和7年度当初予算編成にロジックモデルを活用した。また、個別事業の伴走支援として、課題の明確化、ロジックの整理、効果検証の設計・分析等を実施した。人材育成では、コミュニティサイト上にモデル事業の進捗を報告し、研修動画を掲載した。

② 県民幸福度指標

県政の最大目標である「県民幸福度の向上」に向け、幸福度を「見える化」し政策の方向性を示すことを目的に「令和6年度群馬県幸福度レポート」を公表した。

さらに、令和7年度の幸福度レポートへの活用に向け、県民の主観的な幸福感を把握するため、「県民幸福度アンケート」を実施した。

③ 新たな県民アンケート

県民の意見を県政に反映するための基礎資料・効果検証に活用するため、新たに県民アンケート（インターネット調査）を実施した。

(9) 東京事務所運営

決算額 61,945 千円

在京の窓口として、県と中央省庁、国会、県人会等との間に入り、連絡調整を行うとともに、各都道府県、知事会等との連携を推進した。また、国の予算情報の収集や県人会を通じたふるさと納税の周知など、県政運営に有益な情報の収集及び県政情報の発信を行った。

・各部局と連携した中央省庁、国会等への要望活動実施件数 140 件

(10) 首都圏情報発信

決算額 16,389 千円

首都圏において、パブリシティ活動や物産販売、観光・イベント情報の効果的な発信等を実施し、群馬の魅力を総合的にPRした。

① パブリシティ活動

テレビ局、新聞社、出版社の他、ネットメディア等への取材協力や情報提供等を積極的に行い、県の露出度アップを図った。

② 首都圏における物産振興・魅力発信

期間限定の物産展や各種イベントを開催し、群馬県の魅力的な物産情報等を広く発信することで、群馬県の物産振興やイメージアップを図った。また、HP、SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram）等を活用し、群馬県のPRにつながる情報発信を積極的に行った。

③ 旅行エージェント等と連携した観光誘客促進

旅行エージェントへの積極的な訪問や情報提供、ノベルティグッズの配布等により、群馬県へのツアー造成を促進し、県内への観光誘客を図った。

区 分		令和6年度	令和5年度	前年度比
パブリシティ活動	テレビ・ラジオ放送	511件	174件	293.7%
	新聞・雑誌等掲載	30	38	78.9
	Web掲載	1,371	985	139.2
	広告料換算額	37億3千万円	5億4千万円	690.7
ツアー造成件数		62件	42件	147.6
物産展来場者数		1万3千人	2万5千人	52
物産展売上額		264万円	587万円	45

2 メディアプロモーション費

(1) メディア戦略推進

決算額 20,659 千円

① ぐんま応援びと

SNSで群馬県の魅力発信を行っている県民による、草の根的な発信を推進する事業として、3つのテーマで写真の投稿コンテストを実施した。

・テーマ及び期間

テ ィ マ	期 間	投 稿 数
ぐんまの風景・食べもの	令和6年4月8日～令和7年1月31日	16,028 件
ぐんまの星空	令和6年9月10日～令和6年11月5日	171
ぐんまペット旅	令和7年1月10日～令和7年2月26日	83

・フォロワー数等実績

区 分	内 容
各テーマ受賞者のSNSアカウントフォロワー総数	79,155 人
ぐんま応援びとSNSアカウントフォロワー数	27,406
ぐんま応援びと投稿作品の二次利用回数※	10 回

※投稿作品は県の各種広報媒体等に利用可能としている。

② デザインマネジメントチームの設置

会計年度任用職員1名をイラスト動画デザイナーとして配置し、庁内のチラシ・ポスター等の広報物に係る相談やデザイン支援を実施した。

・庁内制作等の受付件数 274 件

③ ソーシャルリスニング

県重要施策に関連した16キーワードと、各所属が運用するSNSの8アカウントを次により分析し、効果的な発信に向けて各所属に助言した。

ア 県重要施策関連キーワード分析

キーワードを含むソーシャルメディア上の投稿を収集し、話題分析、プレ／ポスト分析、ポジネガ分析を行い、訴求対象へより一層情報が届くよう助言した。

イ X (旧 Twitter) アカウント分析

自アカウントと同様の情報発信やサービス展開をしている民間や他自治体のアカウントについて、反応の良い投稿などについて分析を行い、自アカウントのフォロワー獲得に向けて助言した。

(2) メディア連携推進

決算額 3,576 千円

主に在京メディア等に対し、「群馬ならではの取り組み」＝「群馬モデル」、県の魅力情報等をニュース素材、情報素材として積極的に企画提案し、取材誘引、ニュース番組、情報番組等における露出拡大を図った。

・支援番組数 60 本（キー局テレビ番組、WEB 番組など）

(3) コンテンツ推進

決算額 414,136 千円

群馬県のキラーコンテンツの一つである「ぐんまちゃん」の認知度を世界的に高め、群馬県のブランド力強化と県民の郷土愛の醸成を図ることを目的に動画コンテンツの製作・放送配信やプロモーションを実施した。

① ぐんまちゃんキャラバン隊

ぐんまちゃんを隊長とした「ぐんまちゃんキャラバン隊」がイベントや県内幼稚園等を訪問して、群馬県の PR や子ども達の郷土愛の育成、県民プライド醸成に取り組んだ。

・出動回数：373 回（内訳：イベント等 249 回、幼稚園等：81 回、動画撮影等：43 回）

② アニメ放送・配信

アニメシーズン 1・2 を放送・配信した。

【アニメ「ぐんまちゃん」】

区 分	内 容
制作話数	シーズン 1 全 39 話（1 話約 7 分） シーズン 2 全 39 話（1 話約 7 分）
監 督	本郷みつる （「クレヨンしんちゃん」「キョロちゃん」など実績多数）

・テレビ再放送（シーズン 1・2）

区 分	内 容
放送期間	令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月（30 分番組として全 26 回放送）
放 送 局	群馬テレビ

・動画配信

区 分	内 容
国内配信サービス	・Lemino、アニメタイムズ、hulu、FOD ほか 23 サービス
海外配信サービス	・クランチロール ・配信地域：全世界（200 以上の国と地域） ※一部アジア地域を除く ・内 容：8 言語の字幕により配信

③ 公式グッズ制作

ぐんまちゃん公式グッズを制作・販売した。

区 分		制 作 数	販 売 数
ぬいぐるみ	ぐんまちゃん	1,400 個	1,388 個
	あ お ま	500	476
	み ー み	800	476
ぬいぐるみ マスコット	ぐんまちゃん	3,000	2,900
	あ お ま	1,500	1,400
	み ー み	1,500	1,400

④ ぐんまちゃん全国プロモーション実施

群馬県内外で「ぐんまちゃん」の認知度を向上させるプロモーションを展開した。

ぐんまちゃん活動 30 周年 WEBCM 3 本及び総集編 1 本を制作し YouTube、TVer に配信するとともに、令和 6 年 11 月から令和 7 年 3 月までの間、全国 5 都市をまわる「日本全国なかよしキャラバン」を開催し、幼稚園や商業施設などで、群馬県及びぐんまちゃんの PR を実施した。

また、活動 30 周年記念写真集「ぐんまちゃん BOOK」を出版し、ぐんまちゃんの魅力を全国に届けた。

・「NRC 全国キャラクター調査」結果

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
全国 認 知 度	43 %	49 %
好 感 度	8	7

⑤ ぐんまちゃん活動 30 周年記念「ご当地キャラカーニバル in ぐんま 2024」

ぐんまちゃんの活動 30 周年を記念し、アフター事業として、ぐんまちゃんをホストとする大型キャラクターイベントを開催した。昨年に引き続き 2 回目の開催となった。

区 分	内 容
開 催 日 時	令和 6 年 9 月 29 日(土)、30 日(日) 両日とも午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分
会 場	群馬県庁県民広場ほか
来 場 者 数	4.1 万人(2 日間計)
参 加 者	103 キャラ(ホストのぐんまちゃん・あおま・みーみ含む) 90 団体(群馬県含む)

⑥ 海外プロモーション

北米最大級のアニメコンベンション「アニメエキスポ」に、昨年に引き続き2回目の出展をした。ぐんまちゃんブースとして群馬県が単独出展した。

区 分	内 容
開 催 日 程	令和6年7月4日(木)～7日(日)
会 場	米国・ロサンゼルスコンベンションセンター
来 場 者 数	約5千人(4日間合計) ※全体来場者約40万人(4日間合計)
内 容	・アニメぐんまちゃんの放映、ぐんまちゃんダンスパフォーマンス、グッズ販売、観光PR等

⑦ ぐんまちゃんお誕生日会

ぐんまちゃんが主催するファンイベントとして、「ぐんまちゃんお誕生日会」を開催した。

区 分	内 容
開 催 日 時	令和7年2月22日(日) 午後3時00分～4時20分
開 催 方 法	有料開催 S席：中学生以上 2,000円、小学生以下 1,000円 一般：中学生以上 1,000円、小学生以下 500円
会 場	ベイシア文化ホール 入場者数：1,400名
出 演 者	・ぐんまちゃん、あおま、みーみ ・出口たかし、じゅじゅ、寺嶋由芙、今村真莉愛、森嶋あんり、咲乃ゆい ・県内外のキャラクター計8団体 ・司会：寺嶋由芙

⑧ 「劇団ぐんまちゃん」

ア YouTube チャンネル「劇団ぐんまちゃん」

未就学児とその親世代をターゲットに、ぐんまちゃん和他キャラクターが、童謡や手遊び歌を配信し、群馬県とぐんまちゃんの魅力を発信した。

・総再生回数 6,684,627回 動画公開本数 157本

イ 「劇団ぐんまちゃん」コンサート

YouTube チャンネル「劇団ぐんまちゃん」の人気曲を中心に、ぐんまちゃん等による寸劇、童謡や手遊び歌、ダンス等を内容とする公演を実施した。

区 分	内 容
開 催 日 時	①令和6年8月3日(土)、②令和7年3月20日(木) 各日2回午前午後公演
開 催 方 法	有料開催(中学生以上 1,000円、小学生以下 500円)
会 場	群馬会館(定員：258席) 入場者数：1,387名(上記①②の合計)
出 演 者	・ぐんまちゃん、あおま、みーみ ・出口たかし、中野美優、じゅじゅ

⑨ ぐんまちゃんの情報発信

ア ウェブサイト「ぐんまちゃんオフィシャルサイト」にぐんまちゃん関連の情報を集約・発信するとともに、アニメ公式ページによりアニメを周知した。

イ ぐんまちゃん本人のSNSアカウントを運用して、全国に情報発信を行った。

区 分	フォロワー数
【X(旧 Twitter)】 ぐんまちゃん	約 6.1 万人
【X(旧 Twitter)】 公式情報	約 1.2
【Instagram】 ぐんまちゃん	約 5.7
【TikTok】 ぐんまちゃん	約 4.6

⑩ ぐんまちゃんのデザイン利用許諾

ぐんまちゃんの利用許諾制度の運営及び利用促進を図るため、利用の手引きに掲載するイラストの追加を行った。

・許諾件数：令和6年度 1,026 件（令和5年度 1,113 件／令和4年度 867 件）

⑪ ぐんまちゃんの著作権契約・権利保全

ぐんまちゃん及び関連キャラクターについて、国内の商標登録及び海外の著作権登録を行い、権利保全を行った。

(4) 広報活動

決算額 149,225 千円

県政に対する県民の理解を深めるため、広報紙・テレビ・ラジオ等を活用し、迅速かつ的確な県政情報の発信に努めるとともに、子どもや高齢者・障害者等にも配慮した、分かりやすい広報を積極的に行った。

区 分		事 業 量		事 業 費
刊行物	ぐ ん ま 広 報	529,500 部／回	1回	92,255 千円
		502,500	6	
		489,500	5	
	t s u l u n o s P L U S	年 4 回発行		4,275
		502,500 部／回	2	
		489,500	2	
テレビ	点 字 広 報	350部／回	12	2,118
	声 の 広 報	155本／回	12	543
	県政インフォメーション 群馬テレビ「ニュースジャスト 6」内	番組内コーナー（1分30秒）		17,182
		テレビ放送 138 データ放送 毎日		
ラジオ	ぐんま情報トッピング	4分番組	209	14,258
	ワイグル P R E F	1分55秒番組	207	6,968
	コ ミ ュ ニ テ イ F M		805	8,842

(5)インターネット広報決算額 36,112 千円

主としてインターネット情報通信技術の特長を生かした迅速で細かい情報提供を行うなどにより、県民の県政参加への関心を高めた。

区 分		事 業 量	事 業 費
電 子 媒 体	県ホームページ	全体アクセス件数 約 3,153 万件	31,756 千円
	県 X (旧 Twitter)	フォロワー数 72,614 人	
	県 LINE (群馬県デジタル窓口)	友だち数 804,361	4,356

(6)映像プロモーション決算額 237,471 千円

① 動画・放送スタジオ活用

県庁 32 階展望フロアにある動画・放送スタジオ「tsulunos」を活用し、群馬県の取組や群馬県の魅力を県内外に伝える動画を制作・発信した。

区 分	事 業 量
スタジオ等を活用した動画制作	総 動 画 本 数 2,067 本
	総 再 生 回 数 8,030 万回

② メディアミックス戦略高度化

複数のメディアを活用し、幅広い世代や訴求層に向けて情報発信を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
メディアミックス実装	・群馬県の魅力を広く伝えるため、複数のメディアを活用し、県 PR 動画の制作・配信、スタジオを活用した視聴者参加型イベントの生配信などを実施 4 企画動画	31,031 千円
テレビ番組配信サービス活用	・群馬の魅力を広く伝えるための県広報番組の制作・放送・配信 ・主な特別番組 ご当地キャラクターニバル 湯けむり調査隊 2024 ・主なレギュラー番組 ビリヤニ 16 話 なぜココに？よりみち温泉 4 話	126,257
新 YouTube チャンネル用コンテンツ制作	・インフルエンサーを活用した群馬県 PR 動画の制作・配信 ・動画本数 50 本 ・動画総再生回数 758 万回超	50,585

③ ショート動画活用

群馬県の情報をあらゆる世代に届けるため、特に若年層をターゲットとしたショート動画を制作・発信した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
TikToker コラボ動画制作	・TikToker を活用した群馬県 PR 動画の制作・配信 ・動画本数 60 本 ・動画総再生回数 1,900 万回超	16,473 千円

(7) 記者室運営

決算額 11,241 千円

記者会見や資料提供等により、報道機関に対する積極的な情報提供を行い、県民に対する情報発信を充実した。

区 分	事 業 量	事 業 費
記 者 会 見	156件（県:88、その他:68）	11,241千円
資 料 提 供	4,659（県:2,217、その他:2,442）	

3 デジタルトランスフォーメーション費

(1) デジタルトランスフォーメーション推進

決算額 64,581 千円

① ぐんまDX加速化プログラム推進

群馬県独自のDXを推進し、県民の幸福度向上を目指すことを目的として「新・ぐんまDX加速化プログラム」を推進した。

② 行政改革推進

県行財政改革大綱に基づき、県政のデジタル化推進や多様で柔軟な働き方の実現等に向けた行政改革の取組を行った。

③ 地域課題解決プロジェクト

各分野の行政課題をデジタル技術により解決するためのプロジェクトを実施した。

区 分	事業内容	成果	事業費
デ ジ タ ル 版 ぐ ー ち ょ き シニアパスポート	群馬県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」及びマイナンバーカードを活用し、ぐーちょきシニアパスポートをデジタル化した。	・令和7年3月末時点の登録人数：2,017人	6,600 千円
登 山 届 の デ ジ タ ル 化	書面提出が義務づけられている谷川岳（危険地区）の登山届について、オンライン提出も可能とした。	・オンライン化条例の改正（適用除外から群馬県谷川岳遭難防止条例を削除） ・オンライン提出に係るシステム構築	2,475

区 分	事業内容	成果	事業費
伊香保温泉駐車場スマートパーキング推進事業（渋川市）	車両検知 AI カメラを活用し、空満状況のリアルタイム発信及び取得した映像を AI 解析する実証実験を行った。	・駐車場利用の分散（空 駐 車 場 へ の 誘 導）	2,992 千円
県有施設共通パスポートのデジタル化	群馬県公式 LINE アカウント「群馬県デジタル窓口」を活用し、県有施設共通パスポートをデジタル化した。	・令和 7 年 4 月 1 日から運用開始	2,310

④ 群馬デジタルイノベーションチャレンジ

D X の発想やデジタルスキルを活用して、地域課題の解決や新たな価値を生む「デジタル人材」の育成事業を実施した。また、子どもたちがデジタルスキルを習得する機会を広く提供した。

区 分	実 績	事業費
県立高校の部活動支援	・講師派遣計回数：80 回 ・参加生徒：125 人 ・プログラミングコンテスト入賞	20,621 千円
地 域 I C T ク ラ ブ	・講座実施回数：25 回 ・参加児童：97 人	

⑤ 生成 AI 活用推進

専門的知識が必要な業務について、独自データ（法令、要綱・要領、マニュアル、手引きなど）を学習させることで、的確に回答を生成する環境を整備し、業務効率化を図った。

（２）市町村 D X

決算額 68,945 千円

① 社会保障・税番号制度推進

マイナンバー法の規定による情報連携を行うための情報システム（番号連携サーバー）の運用保守及び更新を行った。

② 自治体情報システム標準化市町村支援

市町村の個別ニーズに基づき、自治体システムの標準化・共通化や行政手続のオンライン化等に係る伴走支援を行った。

③ ぐんま電子申請受付システム運用

インターネットで行政手続の申請・届出等を行う「ぐんま電子申請受付システム」を市町村と共同して運用した。

また、県民の利便性向上及び職員の業務効率化をより一層推進するため、「第 5 次ぐんま電子申請受付システム」を市町村と共同して調達し、運用を開始した。

区 分	実 績
行 政 手 続 等 の 電 子 化 数	1,736 件
電子申請受付システム利用件数	172,448

(3) デジタル基盤整備

決算額 1,871,298 千円

① 県庁情報通信ネットワーク運用管理

無線 LAN、テレワークシステム、グループウェアを取り入れ、新たな働き方に対応した第5次県庁情報通信ネットワークの運用管理を行った。

- ・テレワーク延べ実施者数 32,424 人
- ・Web 会議開催件数 19,085 件

② 庁内ネットワーク用パソコン等整備

職員が、群馬県庁情報通信ネットワークに接続し、文書、資料等の作成や、各種業務システムへのアクセスに使用する、行政事務用パソコン・プリンタの運用保守を行った。

③ 情報セキュリティ

職員の情報セキュリティに係る意識を高め、サイバー攻撃による情報漏えい等の被害を防止するため、研修やeラーニング（6,380 人受講）、標的型攻撃メール訓練（対象：6,621 人）を実施した。

また、高度なセキュリティ対策を行うため、県と市町村等 38 団体が、共同で群馬自治体情報セキュリティクラウドを運用した。

(4) NETSUGEN 運営

決算額 119,607 千円

① 官民共創スペース運用・活用

官民共創スペース「NETSUGEN」において、会員数増加に向けた取組やセミナーやイベントを行った。

区 分	実 績	事 業 費
月 額 会 員 数 の 状 況	法人会員 102 個人会員 128	82,327 千円
セミナー・イベントの実施回数	445 回	

② 31 階 GINGHAM 運営

ソーシャルマルシェ&キッチン「GINGHAM」において、様々な用途で利用されるように広報を行い、にぎわい創出に努めた。

区 分	実 績	事 業 費
利 用 件 数	392 件	31,458 千円
来 場 者 数	184,146 人	

4 グリーンイノベーション推進費

(1)カーボンニュートラル推進

決算額 73,870 千円

① 地球温暖化対策実行計画推進

出前講座等を実施し、地球温暖化の現状や対策について普及啓発を実施した。また、事業の進捗確認として、県内温室効果ガス排出量を算出した結果、2021年度の県内温室効果ガス排出量は、14,268千トン（CO₂換算）であり、基準年度（2013年度）に比べ18.5%減少した。

② 2050年「ぐんま5つのゼロ宣言」実現に向けた条例の運用

エネルギー使用量の多い事業者や延べ床面積の大きい建築物を建設する事業者から、温室効果ガス削減のための計画・報告や再生可能エネルギー導入のための計画・報告を受け付けた。

区 分	件 数
排 出 量 削 減 計 画 及 び 排 出 状 況 報 告	254 件
再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 計 画 及 び 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 状 況 報 告	254
特 定 建 築 物 排 出 量 削 減 計 画	40
特 定 建 築 物 排 出 量 削 減 実 施 報 告	18
特 定 建 築 物 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 計 画	39
特 定 建 築 物 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 実 施 報 告	17

③ 県有施設脱炭素化推進

ア 県有施設の温室効果ガス排出量削減の推進

群馬県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各所属・施設ごとにエネルギー使用量等削減の目標・計画を定め、県の事務事業に伴う温室効果ガス排出削減を図った。

イ 県有施設LED化

県有施設におけるLED化の割合を2030年度までに100%とするため、令和6年度から新たにリース方式によるLED化事業を開始し、17施設のLED化を実施した。

④ 群馬県気候変動適応センター運営

適応策について県民等への普及啓発を目的として情報収集を行った。特に熱中症対策では、国立環境研究所との共同研究を行うとともに、デジタルリーフレットを作成し民間企業と連携した予防啓発を実施した。

⑤ EVカーシェアリング実証実験

県有施設5か所にEV20台を導入し、平日は公用車として、休日は地域住民等とシェアするEVカーシェアリング実証実験を実施した。

区 分	利 用 回 数	期 間
平 日 公 用 車 利 用	2,834 回	令和6年4月～令和7年3月
休 日 カ ー シ ェ ア 利 用	174 回	令和6年4月～令和7年3月

(2)再生可能エネルギー推進

決算額 825,765 千円

① 再生可能エネルギー導入の促進

県民及び県内事業者の再生可能エネルギーの導入を促進するため、以下のア～ウの事業を引き続き実施した。

ア 低利の「融資制度」

イ 設備導入時の初期費用が 0 円になる仕組みである「初期費用 0 円事業」

ウ 一括発注し購入することでスケールメリットを働かせて設備導入時の初期費用を低減する取組である「共同購入」

さらに、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、県内中小企業者等や個人が太陽光発電設備や蓄電池を導入する際の経費の一部を補助する「太陽光発電設備等導入支援事業費補助金」を新たに実施した。加えて、内閣府の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、県内に太陽光発電設備を導入済みの住宅を有する個人が蓄電池を導入する際の経費の一部を補助する「住宅用蓄電池導入支援事業費補助金」を新たに実施した。

事業概要	内 容
住宅用太陽光発電設備等導入資金	認定 32 件、融資額 85,693 千円
事業用再生可能エネルギー設備等導入資金	認定 3 件、融資額 41,300 千円
住宅用太陽光発電設備等初期費用 0 円事業	4 事業者 9 プラン登録、累計 30 件成約
事業用太陽光発電設備等初期費用 0 円事業	3 事業者 3 プラン登録、累計 17 件成約
住宅用太陽光発電設備等共同購入	市場価格比約 25%割引で購入 1,363 件申込、102 件成約
事業用太陽光発電設備等共同購入	市場価格比約 20%割引で購入 21 件申込、0 件成約（令和 7 年 3 月 31 日現在）
太陽光発電設備等導入支援事業費補助金 （太陽光発電設備単体導入又は太陽光発電設備及び蓄電池の同時導入を対象）	補助金支払実績 中小企業者等 70 件、318,900 千円 個人 177 件、93,772 千円
住宅用蓄電池導入支援事業費補助金（太陽光発電設備設置済みの住宅への蓄電池単体導入を対象）	補助金支払実績 個人 205 件、104,151 千円

② バイオマス活用推進

群馬県バイオマス活用推進計画（第 3 次群馬県循環型社会づくり推進計画に統合）に基づき、バイオマスの種類ごとの賦存量及び利用量等の進捗状況を調査した。

また、農林水産省の交付金を活用し、民間事業者が行う地域内のバイオマス（事業系生ごみ）を活用したメタン発酵による発電施設整備に要する費用の一部を補助した。

・バイオマス利用率(全種別合計：炭素換算)

計画策定時（令和 2 年度）	令和 5 年度	目標（令和 12 年度）
80%	77%	80%

(3) グリーンイノベーション加速化支援

決算額 53,487 千円

① 「グリーンイノベーション群馬戦略 2035」の策定

県内への再生可能エネルギー導入や産業分野でのグリーンイノベーション創出を促進するため、民間投資を呼び込む観点から長期的な目標や 2035 年までの戦略を定める「グリーンイノベーション群馬戦略 2035」を策定した。

② 脱炭素経営お悩み相談窓口

脱炭素の目標設定や具体策等に関する県内事業者の相談に専門家が応じる相談窓口を設置し、18 者 20 件の相談に応じた。また、脱炭素経営を啓発するセミナーを開催した。

③ カーボンニュートラルビジネス支援補助金

脱炭素化に資する新製品やサービスを開発しようとする事業者に対して補助金を交付し、新たなビジネスの創出を支援した。(7 件、33,055 千円)

④ 革新的環境イノベーションコンソーシアム

製造業企業、金融機関、エネルギーインフラ企業、大学及び県の計 17 団体からなるコンソーシアムにおいて、意見交換会及び勉強会を実施した。

⑤ 地域と共創する脱炭素イノベーション創出事業の実施

地域課題の解決と脱炭素化を進める取組をビジネスの観点から創出するため、事業者の持つアイデアをブラッシュアップするプログラムを展開するとともに、実証の場を提供する市町村とのマッチングを行ったところ、2 事業者のアイデアがマッチングした。

5 交通イノベーション推進費

(1) 交通まちづくり戦略推進

決算額 200,723 千円

過度なマイカー依存から公共交通への転換を促すため、スマートフォンひとつで、目的地までのルート検索から、予約、決済までの手続きを一括で可能とする交通系アプリケーションである群馬版 M a a S 「G u n M a a S」(グンマース)の使い勝手の改善や利用登録者の拡大に取り組んだ。

また、バス事業の D X 化に向けた意識醸成を図るため、公共交通におけるデータ活用をテーマとしたイベントや研修会を開催した。

区 分	登 録 者 数	事 業 費
G u n M a a S の 普 及 拡 大	27,240 人	196,454 千円

(2) 地域交通対策

決算額 621,739 千円

① 路線バス対策

県民の生活に欠かせない移動手段である路線バスを維持し、その利便性を向上させるため、路線バスを運行するバス事業者や市町村等に対して、運行費の補助を行った。

区 分		対 象 数	補 助 金
バス運行対策費補助	運 行 費 補 助	4 社 15 系統	58,117 千円
	車両減価償却費等補助	4 社 16 両	21,712
市町村乗合バス補助	運 行 費 補 助	25 市町村等 75 路線	144,631
計			224,460

② 運輸事業振興対策

群馬県トラック協会及び群馬県バス協会に対し運輸事業振興助成交付金を交付し、これにより環境対策事業や交通安全対策事業、バス停整備事業等が実施された。

区 分	対 象 者 数	交 付 金
運 輸 事 業 振 興 助 成 交 付 金	2 団体	397,108 千円

(3) 鉄道振興

決算額 201,916 千円

上毛電気鉄道及び上信電鉄が実施する線路・電路等の鉄道基盤設備の維持費に要する経費に補助し、中小私鉄の運行維持及び安全の確保を図った。

区 分		対 象 者	補 助 金
上 毛 線 活性化・再生対策	鉄道基盤設備維持費補助	上 毛 電 気 鉄 道 (株)	98,704 千円
上 信 線 活性化・再生対策	鉄道基盤設備維持費補助	上 信 電 鉄 (株)	102,136
計			200,840

(4) 公共交通整備

決算額 279,466 千円

① 市町村乗合バスの車両整備促進

県民の生活に欠かせない移動手段である路線バスを維持し、その利便性を向上させるため、路線バスを運行する市町村に対して、車両購入費の補助を行った。

区 分		対 象 数	補 助 金
市町村乗合バス補助	車 両 購 入 費 補 助	3 団体 3 両	10,575 千円

② ユニバーサルデザインタクシー車両導入支援

誰もが活躍できる地域社会づくりのため、インバウンドや車椅子利用者等の移動需要に対応するため、車両購入費の補助を行った。

区 分		対 象 数	補 助 金
ユニバーサルデザイン タクシー車両導入 支援	車 両 購 入 費 補 助	2 社 4 両	800 千円

③ 鉄道整備促進

・ステーション整備

駅施設や駅周辺の交通関連施設の整備を支援することにより、鉄道利用の利便性向上や地域の活性化を図った。

区 分	対 象 者	補 助 金
J R 群 馬 総 社 駅 西 口 新 設 等 基 本 設 計	前橋市	22,950 千円
J R 群 馬 総 社 駅 駅 前 広 場 基 本 設 計	前橋市	13,696
J R 岩 宿 駅 駅 前 広 場 基 本 計 画 策 定 業 務	みどり市	15,141

④ 鉄道輸送対策

上毛電気鉄道の踏切保安設備の更新、上信電鉄の道床更新及びわたらせ渓谷鐵道のレールの重軌条化など、安全性向上に資する設備整備に対して補助し、中小私鉄の運行維持及び安全の確保を図った。

事 業 名	対 象 者	整 備 内 容	補 助 金
輸 送 対 策 事業費補助	上 毛 電 気 鉄 道 (株)	車両更新、踏切保安設備更新、電柱更新	121,623 千円
	上 信 電 鉄 (株)	道床改良、ワンマン機器更新等	56,749
	わたらせ渓谷鐵道(株)	信号保安設備更新、レールの重軌条化等	21,784
計			200,156

⑤ 地方公共交通計画策定

県内中小私鉄3社の今後のあり方や公的支援のあり方等について議論を行い、今後のあり方に関する基本方針を取りまとめた。

区 分	事 業 費
地 方 公 共 交 通 計 画 策 定	16,148 千円

6 地域外交費

(1) 国際政策推進

決算額 127,117 千円

知事によるトップ外交を実施し、海外要人とのハイレベルな人脈を構築するとともに、先進的取組を視察し県政への反映に努めた。

区 分	実 績
米 国	・デジタルクリエイティブ人材育成に係る教育機関との関係構築 ・米国中西部地域との関係強化（日米中西部会参加） ・インディアナ州知事との会談
ベトナム	・ベトナム政府副首相との会談（都内） ・ベトナム政府首相、計画投資大臣、地方政府要人との会談、現地大学との意見交換など
欧州（英国、ハンガリー、フランス）	・デジタルクリエイティブ人材育成に係る教育関係者との意見交換 ・イノベーション支援に係るEU関係機関との関係構築 ・スタートアップインキュベーション施設等の先進視察など

(2) 上海事務所運営

決算額 28,819 千円

上海事務所において、職員が現地駐在する強みを生かした上海市政府とのコネクションの構築・強化を基盤とし、県産品のPRや、販路開拓を行った。

また、群馬県と上海市との交流強化を目的として、群馬県内にて上海交通大学と群馬大学の学生交流事業を実施した。

区 分	実 績
観光誘客促進（旅行社等訪問、来所相談、観光展出演）	18 件
県産品PR（事業所等訪問、来所相談、物産展出演）	9
企業のビジネス展開支援（県内企業訪問、来所相談）	22
情報発信（ウェイボー）フォロワー数	58,002 人

(3) 国際交流推進

決算額 27,672 千円

① グローバル始動人テイクオフ

区 分	主 な 内 容
英語プレゼンコンテスト	県内の高校生を対象に、英語によるプレゼンコンテスト等を開催した。 ・参加者数 72 名
米国インディアナ州への高校生派遣	プレゼンコンテストのグランプリ・準グランプリ受賞チーム（高校生4名）を米国インディアナ州へ派遣し、現地の高校・大学での学生交流や企業訪問等を実施した。
米国インディアナ州からの高校生受入れ	米国インディアナ州の高校生5名を群馬県で受入れ、県内高校・大学での学生交流を行うとともに群馬の魅力について紹介した。
小・中・高生のための国際理解講座	県内の小・中・高生を対象に、JICA 海外協力隊経験者による国際協力講座や国際交流員による異文化理解講座を実施した。 ・参加校数 小学校 6 校 中学校 6 校 高校 8 校

② 県民向け国際交流イベントの実施

県内の民間国際交流団体等と連携して国際交流イベントを実施し、県民の国際理解促進及び県内在住の対象国関係者との関係構築を図った。

区 分	主 な 内 容
ぐんまベトナム交流祭（令和7年2月1日～2月2日・県庁1階県民ホール）	ベトナムの旧正月「テト」をテーマとした交流イベント（文化体験、ステージ企画、飲食物販売等）を実施。・来場者数 約 8,200 人

③ 海外県人会、海外ぐんまサポーターズとの連携

海外県人会等を群馬県の応援組織として委嘱し、現地の人脈づくりや情報収集等で協力をしてもらうことで、海外自治体や海外県人会等とのネットワーク構築を図った。

・県人会等の活動状況

区 分	構成員数	主 な 活 動
在伯群馬県人文化協会	64 人	・ 移住者相互親睦、生活援護指導
在北伯群馬県人会	20	
在パラグアイ群馬県人会	97	
南加群馬県人会	74	
ハワイ群馬県人会	47	
フィリピン群馬会	54	
上海群馬県人会	90	・ 上海事務所に各種情報を提供 ・ 会員間相互親睦
香港ぐんまサポーターズ	18	
ハノイぐんまサポーターズ	23	

④ 語学指導等を行う外国青年招致（JETプログラム）

県及び市町村、私立学校等において国際交流員及び県内学校の英語指導助手（ALT）を受け入れ、群馬県地域レベルの国際交流推進と英語教育充実を図った。

・JETプログラム活動状況

区 分	主 な 内 容
英 語 指 導	英語圏各国から来日した 186 人の英語指導助手が小学校、中学校、高等学校等で英語指導に従事した。
国 際 交 流	各国から来日した 3 人の国際交流員が、自治体の国際業務（翻訳、通訳、住民向け語学講座、インバウンド観光PR等）に従事した。（配置先：県、前橋市）

（４）旅券発給

決算額 33,045 千円

旅券法に基づき海外渡航に必要な一般旅券の作成・検査や旅券申請・交付の窓口である市町村旅券窓口業務の支援を行った。令和６年は、引き続き海外渡航需要の回復傾向が続いているが、コロナ禍前までの状況には戻っていない。

- ・旅券申請件数 令和６年：38,144 件、令和５年：34,465 件、令和４年：11,121 件
- ・旅券発行件数 令和６年：37,983 件、令和５年：34,176 件、令和４年：10,870 件

男女別		有効期間別		
男	女	10 年	5 年	その他
17,580 件	20,403 件	23,068 件	14,912 件	3 件